

たかぎ



議会だより

No.58

平成24年7月

発行 長野県喬木村議会
編集 議会だより編集委員会
発行責任者 原 嘉俊
印刷 龍共印刷(株)

ポピー祭りに訪れた園児



国民健康保険税率10%引き上げに 2ページ

喬木村の未来に向かって工事は進む(三遠南信) ... 5ページ

9名が村政を問う 一般質問 7~11ページ

この村でがんばっています 12ページ
(赤とんぼの会)

24
年度

国民健康保険税率 10%引き上げに

ここ数年、医療費の増加に伴い、単年度収支も赤字が続いたので、基金を取り崩して賄ってきたが、基金残高も皆無に等しくなったことから、やむを得ず税率を改正した。

医療分・支援分

		23年度分			24年度分			比較
		医療分	支援分	計	医療分	支援分	計	
応能	所得割	3.31%	2.90%	6.21%	3.47%	3.00%	6.47%	0.26%
	資産割	18.57%	15.60%	34.17%	20.42%	16.79%	37.21%	3.04%
応益	均等割	9,300円	7,200円	16,500円	10,200円	7,900円	18,100円	1,600円
	平均割	7,000円	5,500円	12,500円	7,500円	6,000円	13,500円	1,000円

○一人あたりの平均年額……56,357円（前年対比 5,123円増）
○一人あたりの平均月額…… 4,696円（前年対比 427円増）

世帯・一人あたり比較

区分	23年度	24年度	比較増減	態前年比
一世帯あたり	94,758円	102,075円	7,317円	7.7%増
一人あたり	51,234円	56,357円	5,123円	10%増

- 応能割……前年度の所得・資産に応じて負担していただくもの。
○応益割……加入世帯と加入人数に応じて負担していただくもの。

平成24年第2回定例会が6月4日から18日までの15日間の会期で開催され、条例の一部改正、補正予算等を承認、可決した。
また、請願を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

平成24年
第2回定例会

平成24年

第2回定例会

人 事

○監査委員の任期満了により、喬木村3283番地、市瀬晴康氏の選任(新任)に同意した。



○固定資産評価審査委員会委員の任期満了により、喬木村13307番地2、元島利雄氏の選任(再任)に同意した。



条例改正

○喬木村課設置条例等の一部改正

役場の組織改革による課の再編に伴う1課増及び名称の変更

○喬木村税条例の一部改正

東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律等の公布に伴う改正

○喬木村国民健康保険税条例の一部改正

国保運営協議会の答申により1人あたり10%の増額。

○喬木村手数料徴収条例の一部改正

○喬木村印鑑の登録及び

証明に関する条例の一部改正

○喬木村下水道条例の一部改正

前記3条例は住民基本台帳法等の一部改正により外国人登録をしてきた外国人が住民基本台帳へ登録されるため「外国人登録」という表示部分の削除。

補正予算

○一般会計(第2号)

(歳入)

・緊急雇用創出事業補助金 367万5千円

・五反田分譲地単価決定に伴う当初予算との差額 174万2千円

(歳出)

・地域福祉総合助成金 171万5千円

・活性化事業補助金 300万円

・クラインガルテン管理運営経費 368万8千円

・交通安全対策経費 2,000万円

・空き家活用補助金 150万円

○一般会計追加議案(第3号)

・特養喬木荘増床工事追加分 2,636万5千円

○村営水道特別会計

職員の研修会等負担金増による予算組み替え

○下水道特別会計

北地区本管敷設工事費増による予算組み替え

請 願

◇「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書

◇新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める請願書

◇少人数学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

何れも採択し、関係機関へ意見書提出
請願者
喬木村学校教職員組合代表

清水 智

平成23年度 専決補正予算

6/4上程分

会 計 名	補 正 金 額	予 算 総 額
一 般 会 計 (第2号)	868万4千円	31億1,568万4千円
特別会計 村 営 水 道 (第1号)	0千円	1億5,500万円
下 水 道 (第1号)	90万円	2億9390万円

平成24年度 6月補正予算

6/18上程分

会 計 名	補 正 金 額	予 算 総 額
一 般 会 計 (第3号)	2,636万5千円	31億4,204万9千円

平成24年 第2回臨時会

平成24年第2回臨時会が5月11日開催され、専決処分報告、条例の一部改正、補正予算等を承認、可決した。

専決処分

○喬木村税条例の一部改正

地方税法の改正による固定資産税等の住宅用地に係る据置特例を経過的な措置を講じた上、廃止

○喬木村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の改正による東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長3年を7年に延長

○一般会計予算

村税、特別交付税等の精算増と歳出の不用減等で留保できる財源があり基金へ2億円を積立。

条例改正

○喬木村学校共同調理場設置条例の一部改正
調理場移転による位置の変更

契約締結

○喬木村デジタル防災行政無線移動系設備設置工事に株式会社日立国際電気長野営業所と

2億4,465万円で請負契約に同意

補正予算

○一般会計(歳入)

・北コミュニティセンター

建設等に伴うコミュニティ助成事業助成金
1,600万円

総合運動公園ランニングコース改修工事に係るスポーツ振興くじ助成金
2,000万円

(歳出)
・北コミュニティセンター補助金
1,500万円

・自主防災組織配布用テナント購入費
436万円
・総合運動公園ランニングコース改修工事費
424万2千円

・住宅リフォーム補助金
700万円

平成23年度 専決補正予算

会計名	補正金額	予算総額	
一般会計(第6号)	1億5,151万8千円	38億9,019万4千円	
特別会計	国民健康保険(第4号)	△ 626万3千円	5億8,242万9千円
	後期高齢者医療(第3号)	△ 321万8千円	5,932万2千円
	介護保険(第5号)	△ 2,186万4千円	6億7,037万0千円
	村営水道(第4号)	227万8千円	1億6,752万2千円
	下水道(第5号)	551万8千円	2億9,050万3千円
	農業集落排水(第4号)	△ 54万1千円	7,434万2千円

平成24年度 5月補正予算

会計名	補正金額	予算総額
一般会計(第1号)	1億700万円	31億700万円

平成24年 第3回臨時会

平成24年第3回臨時会が7月6日開催され、契約締結を同意、可決した。

契約締結

○特別養護老人ホーム喬木荘増改築工事建築工事に吉川建設株式会社と7,318万5千円で請負契約に同意

このほかに、機械設備工事に明和工業株式会社と2,467万5千円、電気設備工事に株式会社東陽興業と1,365万円で契約締結の報告があった。



個室が3部屋できる特養の中庭

議会日誌

日	内容	日	内容
4月 4日	三園入園式	5月 17日	全会協議会
4日	編集委員会	6日	水防訓練
4日	中学校入學式	8日	三遠南信道飯橋道路第3工区検討委員会
5日	小学校入學式	10日	緑化祭
5日	飯田養護学校入學式	11日	議会運営委員会・臨時会・全員協議会
6日	編集委員会	14日	商工会総会
6日	北部ブロック正副議長・事務局長会議	17日	北部ブロック正副議長・事務局
9日	編集委員会	21日	長視察研修
16日	北部ブロック正副議長・事務局長会議	21日	広域全員協議会
16日	上下水道運営審議会	21日	郡議長会総会
17日	全会協議会	23日	北部総合事務組合全員協議会
18日	総務産業建設常任委員会		
18日	閉会	4月 25日	シルバー人材センター総会
15日	一般質問	5月 25日	国保運営協議会
15日	全会協議会	29日	全国議長会議長副議長研修会
15日	飯伊地区森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会	6月 1日	議会運営委員会
7日	飯伊地区森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会	2日	飯田養護学校運動会
6日	総務産業建設常任委員会	4日	開会
6日	社会文教常任委員会	4日	全員協議会
5日	社会文教常任委員会	1日	議会運営委員会

喬木村の未来に向かって工事は進む

三遠南信自動車道の進捗状況



6/18 千代IC(仮称) 工事現場視察

地区の地元住民説明

飯伊地域と浜松市を結ぶ延長約100kmの三遠南信自動車道は、昭和52年調査開始以来、35年を経ている。まさに、太平洋沿岸地域と中山間内陸地域が結び合う夢の架け橋とされるルートである。今年3月、新東名高速道路の開通をともしない、浜松いなさ北ICと鳳来峡IC間の約14kmが供用開始された。そして、県境の青崩峠道路はその約5km弱をトンネルで貫くための、測量、地質調査などが行われている。県内は4.2kmの矢筈トンネルが平成6年開通以来、飯田山本ICから喬木IC間(22.1km)の飯喬道路の工事が、いま目ざましい進捗を見せている。山本

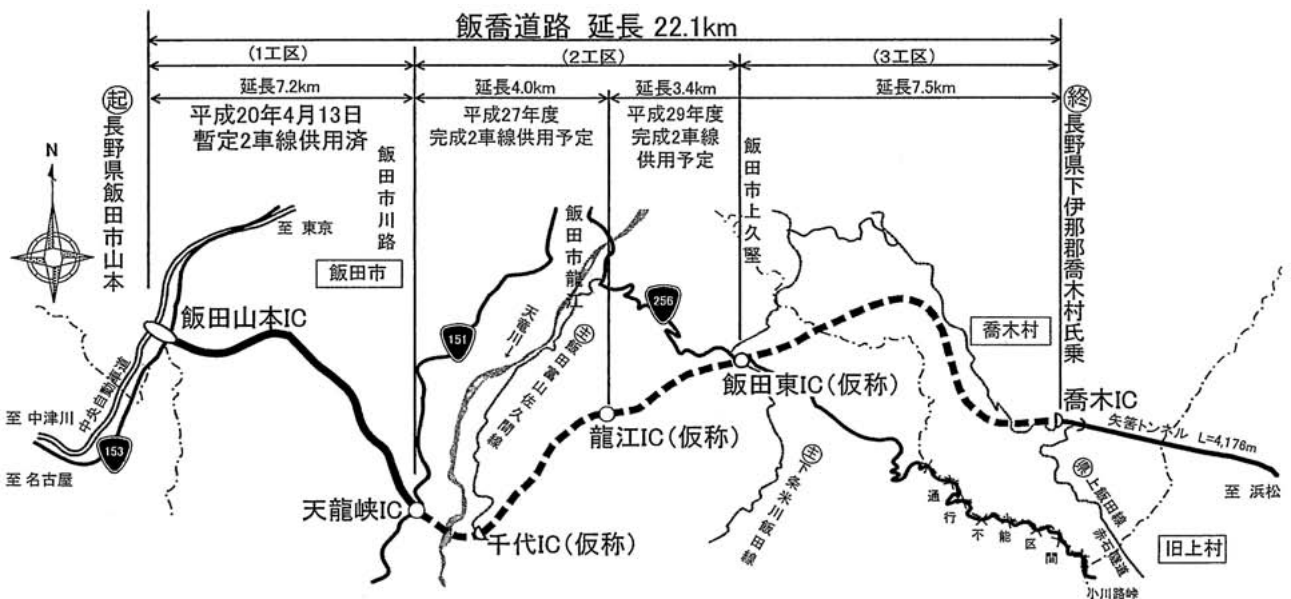
ICと天竜峡IC間7.2kmは、平成20年4月、供用開始となり、つづく龍江IC(仮称)間4kmは、平成27年度、そして飯田東IC(仮称)までの3.4kmが平成29年度供用予定となっており、現在各IC周辺は工事が進んでいる。喬木村議会は平成21年12月、議員発議で三遠南信自動車道建設促進を求める意見書をもって、国関係機関へ要請した。まさにこれと時を同じくして、平成22年度三遠関係予算が、25億円余計上され、さらに24年度は実に2倍以上の、57億円が付くなど、工事の進捗は急ピッチの様相である。な

お、飯喬道路3工区の飯田東IC(上久堅)喬木村氏乗を結ぶ7.5km間は、現在具体的な工事に向けた測量、地質調査設計が行われており、トンネル、橋、工事用道路などについて、富田、大和知、氏乗地区の地元住民説明



7/5 青崩トンネル浜松側の坑口付近

会も行われている。そもそも、遠州と南信州、さらに東三河の三地域は、古くから環境や文化、風習などを共有し、海と山との交流が育まれてきた歴史的圏域である。三遠南信流域都市圏の構築に向けたサミットが過去20年にわたって毎年行われ、全国でもまれにみる県境連携ビジョンも決定している。そんな中で、北の玄関口としての喬木村は、リニア中央新幹線の到来も見据えつつ、250万圏域を視野に産業文化、観光など村の発展的将来ビジョンを、村民みんなが共有することが求められている。(議長 原嘉俊)



社会文教常任委員会

委員会に付託されている案件は、条例の一部改正3件、平成24年度一般会計補正予算(2号)、請願3件を審査の結果、当委員会はそれぞれ可決した。

審査質疑

条例の一部改正から

Q 国保運営審議会の意見はどうであったか。

A 国保税を上げないでいる事はまず第一だが医療費が毎年伸びている事や、基金が規定の額を割り込んでいる現実をみると、10%の値上げをという人と、来年また値上げにならないように、15%の値上げと二通りの意見があった。

意見として
◎ここ3年は国保税の値上げをこななかったが、また医療費は伸び

ている。また基金の取り崩しが3年間も続いている。23年に上げるべきだったのではなかったか。

◎特別会計に、当初予算で800万繰り入れている。国保に加入している人達を救済するという、社会保障の観点からも一般会計からの繰り入れを考えていかなければならない。

一般会計補正予算から

Q 地域福祉総合助成金171万5千円について

A 医療的ケアを必要とする在宅障がい者の支援に係る看護職員配置補助である。

意見として

◎請願2号・3号・4号は一括協議した。毎年出されている請願なので、もっと論点を絞り込んでほしいという意見があった。請願3号の意見書には、長野県独自の取り組みを盛り込んだ内容を入れるようにと指摘があった。指摘された事項を盛り込み、いずれも可決した。

総務産業建設常任委員会

委員会に付託された条例の一部改正2件、平成24年度の補正予算、一般会計と、特別会計(村営水道、下水道)について審査の結果、当委員会はそれぞれ可決した。

Q 「NPO法人たかぎ」への補助金300万円は事務局長の人件費であるが、事務局長は嘱託か、臨時か。

A 事務局長は嘱託。

Q クラインガルテンの建物は休憩施設であるが、工事の施工業者選定方法は。

A クラインガルテンの趣旨を徹底して募集した。工事は入札で行う。

Q なく使う恐れを感じるの
で押さえるべきとの意見
が出された。

Q 村道5号線(小川
上平く氏乗)の工事
費は

A 今年度400万
円、来年度に110
0万円の工事を予定

Q 水道技術特別会計

A 水道法で水道技術
管理者の設置が定め
られており、現在4名の
職員が資格を所持してい

Q 税条例の一部改正による村の増税額は。試算で年間、住民税で150万円、たばこ消費税で240万円程度の増額が見込まれる。

Q 24年度補正予算から一般会計

A 防犯灯設置補助金をなぜ当初予算化しなかったのか。

A 通常は11月要望をとりまとめ予算化するが、壊れた等緊急を要する場合は補正対応する。

常任委員会報告



社会文教常任委員会



総務産業建設常任委員会

一般質問 9人が問う



議場の様子

一般質問



筒井正司 議員

喬木村の今後の介護保険サービスは

問 平成21年9月の一般質問と23年12月の一般質問で、互助・共助・公助の体制づくりの問題を提起したが、方法はその様であれ、今だ体制づくりができていない。今後、取り組む考えはあるのか。

村長 社会福祉協議会に委託しているいきいきクラブの参加者について、社協の担当職員と月一回情報交換を行っており、またヘルパーの派遣により家事援助や配食サービスを行いながら安否確認を兼ねて実施している。

問 6月21日から7月12日までに、社協で開催する「やってみまいか講座」が4回計画されているが、今後の福祉活動に生かす計画はあるのか。

住民課長

4回すべて受講した方に終了証を発行し、ボランティアの方たちにお願したいニーズを把握する中で生かす方法を検討したい。

問 介護保険制度改定により4月から24時間巡回介護サービスが創設されたが、県内では伊那市・飯綱市・中野市・高山村の4市町村が平成



増床される特養喬木荘

24年に計画するとの報道である。18年後には病院などの介護施設は廃止になるということもあり、本村でも早い時期に取り組むべきであると思うが、村長はどのように考えるか。

村長

いわゆる随時対応型訪問介護・即ち介護と看護のサービスのことであるが、現在喬木村で、介護と訪問看護を共に利用しているのは9名であるが、定期的に利用しているのは3名である。例えばこの3名が定期巡回対応型

サービスを希望した場合は、訪問介護費用分に、月2,920円が加算される。また夜間のサービスの場合基準の1.25から1.5倍となり、非常に負担が多くなる、また定義では訪問看護と訪問介護を一体的に提供している事業所となっており、更に、人員基準・設備基準・運営基準の体制が整っていないのが現状である。従って、利用者の高負担や、事業所の採算性を考えた場合、現時点での検討や実施は困難である。

一般質問



木下 壽雄 議員

夏場の節電対策は

問 今年国では計画停電がないが、中部電力では昨年に続いて「電気予報」をホームページで実施する方向で検討している。役場庁舎他公共施設の対策をどのように考えているか。

村長

役場庁舎をはじめすべての学校、保育園、共同調理場への太陽光発電装置の導入、LED照明への転換。特に庁舎では電力監視装置（ECOナビ）を導入し最大電力使用量を近づくと警報がなり、エアコンの使用を控えるなど行っている。

問 23年度は前年比14.2%電気量を削減した。



庁舎内に設置された電力監視装置

新しい学習指導の現状は

問 4月から新学習指導要領がはじまったが、小学校・中学校で2カ月たった現状は。

教育長

中学校での移行については、問題なくできた。生徒も全体的に見て大きな戸惑いもなく、授業が進んでいる。小学校についても、児童に問題もなく、授業に取り組んでいる。

男女共同参画社会の実現は



元島 賞子 議員

問 喬木村の男女共同参画計画は、今年が5年目の最終年となるが、評価は。

役場内の職員の男女比や昇進状況は。

村長

現計画は具体的数値目標を設定していないため、一概に評価はむずかしいが、女性も公民館活動などには活発な活動が行われている。

現在の正職員62名のうち女性が25名、40.3%である。課長級はいないが、係長級以上では、31名のうち9名が女性で、比率では29%を占めている。

問 育児介護休業法が改正され、男女ともに子育てや介護をしながら働き続けることを目指しているが、取得した男性職員はいない。

しているが、取得状況は。また、県の事業である「社員の子育て応援宣言」について、どう考えるか。

村長

父親の育児休業については、条例を改正して対応しているが、育児休業を取得した男性職員はいない。子育て応援宣言は重要と考えるので、関係団体に紹介していく考えである。

問 次期の男女共同参画計画は、絵に描いた餅にならないよう、スケジュール設定や数値目標が重要と考えるが。

村長 計画策定や事業の推進に当たっては、数値

目標等の設定をし、推進委員会を積極的に開催する。

問 また、若い世代を対象に、育メン手帳（父親の育児応援手帳）を配布し意識の啓発に努める。

問 男女共同参画計画を進める具体的な推進体制は。

企画財政課長

計画策定のための委員会を結成する。県から指摘されている数値目標として、女性の参画比率を高める計画を含めて考える。

推進委員会は定期的に開催し、進捗状況等の確認を行う。



飯田市の男女共同参画課

一般質問



横前 豊 議員

リニア三遠南信を見据えた村づくりは

問 リニア新幹線は、喬木に隣接する場所でのボーリング調査、三遠南信では喬木地区の関係する区への説明会が計画されるなど、いよいよ事業が進むにつれ村でも独自の将来ビジョンを立てる必要があると考えるが、

村長

まずは飯伊地域の地域づくり基礎調査の結果を確認し、村としての整合性のあるビジョンを策定していきたいと考えている。

問 今年1月庁舎内に立ち上げたリニア対策室の活動状況がなかなか見えてこない、残土処

企画財政課長

JRから環境影響調査の結果をまとめ、具体的な路線、駅の位置、工事の方法などが来年の秋に方法書が出る予定ではないかと考え、それらを見据えながら、村としても役員職員だけではなく、住民の皆さんを取り込んだ検討を進めていく必要があると考える。



山梨県でのリニア新幹線の工事

ゴミの減量化は

問 平成29年に桐林のクリーンセンターが更新され新しいクリーンセンター建設に伴い広域連合は、ゴミの減量化(特に生ゴミ)を各市町村に呼びかけている。現在村が行っている減量対策と、生ゴミ処理機の補助事業の現状は。

村長

喬木はゴミの処理機の購入費の1/3以内、上限3万円を昭和57年から補助をし、近隣町村と比べるとダントツに多く、今後新しい処理方法のタイプの処理機も含め補助を増しており、この事業への周知を村内へ徹底したいと考える。

村づくり基本構想に若人の意見の反映を



昼神二三男 議員

問 この村に寄せる作文コンクールにおいて、提案された内容が村づくりの基本構想に反映された実例は。

村長

「豊かな自然を守る」観光農業の振興」などの提案は、総合振興計画に反映している。

また、図書館内で飲食できる場所の確保も、提案内容を実現したものである。

村長

小中学生が行う模擬議会の開催は、

新学習指導要領により授業時間が増えている中で、学校に取り組みをお願いすることは難しい。行政の勉強をする中で、模擬議会開催の提案があれ

問 成人式に併せて、成人が望む将来の喬木村の姿を話し合う場を。

村長

成人式に併せて若い皆さんの声を聞くことは大事だ。実行委員会によって計画運営されているので、そのような声が出てくれば受け入れて進めていきたい。

村長

「村づくり委員会」

の構成員としても若人も参画し、村づくりの基本構想に若人の声が反映されるような組織は。



23年に行われた村づくり委員会

村長

委員構成には、保護者会、PTAの代表、30代の公募委員などがあり、策定に当たっては若い人の意見もある程度は反映されたこと認識している。リニア新幹線、三遠南信自動車道の開通を見据えた計画策定などの機会には、若い人の意見を十分反映できるような仕組み、組織を検討していく。

一般質問



原 東彦 議員

国保会計へ一般会計からの繰り入れ増額を

問 国保運営が、国の負担割合が年々減少しているため、困難を来している。村は、今年度法定外の繰り入れを800万円計上したが、国保税率が10%上がってしまった。一般会計からの繰り入れを増額することは出来ないか。

村長 平成23年度は税率を据え置いた。国保支出金が減少している中でも税率は低いほどよいわけだが、国保運営協議会で、国保財政の現状をみて、1人当たり医療分10%を増額する答申をもらっている。

一般会計からの増額は特に考えていない。

問 介護保険事業は今年度第5期の改正の年であるが、介護保険料が大幅に上がった。一般会計からの繰り入れをする必要があると思うがどうか。

村長 村の一般会計からの繰り入れについては、国が指導しており、保険料減免の三原則により不適当としており、一律減免、全額

減免、一般財源を繰り入れないことになっている。厚労省で自治体が一般会計からの繰り入れをすることを認めている。今後検討を願いたい。

竹林整備と竹の有効活用は

問 竹林の整備で粉末化された竹の処理方法の検討を。

村長 北部事務組合の移動式の破砕機を利用してチップ化し、堆肥などに活用してほしい。

土地利用に対する具体的な構想は

問 リニア・三遠南信自動車道の開通に向け、土地開発が進むと思うが、無秩序な開発防止の対応策は、そのための条例の制定は可能か。

村長 飯伊地域の地域づくり基礎調査の結果を待つ。

企画財政課長

隣接する町村で連絡をとりながら、土地利用調整条例等の制定が可能か検討する。

問 高齢化や後継者不在などにより、土地の処分を望む声もある。喬木悠生寮と工場のふたつの建物が現存している現状をふまえ、伊久間原下の土地利用構想は。

村長 将来の活用策を考えてインフラの整備を進める。



伊久間下原地籍



大原裕夫 議員

問 企業誘致東京事務所を設置について。

村長 企業側は直ぐに工事に着手できる場所を希望している。当村はその状況にはないが、産業立地の可能性はあると考え、同事務所を活用していく。

総務課長

問 防災行政無線の基地局が伊久間下原の角原地籍に設置されるが、整備を行えば将来絶好の展望場所となる。鉄塔の建設にあたり、将来構想に支障の無いような配慮はなされるか。

西側の最先端ではないので影響は無いと思う。

問 悠生寮から工場が通行しているが幅員が狭く道路の痛みが激しい。

建設課長 関係者の会議を持ち検討を重ねた上で周辺の整備を考えたい。

一般質問



森谷博之 議員

村の組織改革と人事対策は

問 村の組織改革が7月1日より実施され、今までより課が一つ増えるが、改正の目的は何か。

村長 22年の4月より行ってきた、グループ制を廃止し、それ以前の課、係制に戻して、庁内の機構改革検討委員会の提案を基に実施した。

問 課が一つ増えるというところで課長も増えるが、現在の係長の中で課長昇任試験に合格している者は何名か。

村長 昨年は3名が合格し、そのうち2名が4月より

課長職に就いている。今年には2名が合格しているので、合わせて3名である。

問 課長昇任試験に合格している人数により、課が増減するようにも見えるが問題ではないか。

村長 今は資格者3名がいるが、これをあてがうために組織改革をしたというこ



新たに設置された住民税務課

く、村民サービスの充実ということでの改革である。

問 副村長の不在が半年となり、任命はまだかとの声もある中で、村長の任期も残り1年半であり、今後の見通しは。

村長 いつまでも不在であることは、近隣町村との兼ね合いもあり、人選は進めたいと思うが、人事異動とは異なり慎重に進めていく。それまでの間は現状のように、教育長ほか各課長の協力を得て進めていく。



太田 忠 議員

通学路の安全確保は

問 4月に登校中の児童を巻き込む死傷事故が全国的に多発した。通学路の安全確保のための再点検を希望する。

教育長 危険箇所改善要望としてPTAから提出されており、県の公安委員会、建設事務所をお願いする箇所も含めて対応について分類作業を進めている。県道大島阿島線の阿島の信号から西の宮まではカラー舗装にするという連絡があり、現地を見て対応する。

問 ガードレールについての設置基準は。村内では道路幅員が狭く、設置に問題があるが、

教育長 ガードレールについての設置基準は特に無い。村内では道路幅員が狭く、設置に問題があるが、



危険な通学路

問 今年度検討する。グリーンベルト等の交通環境整備をしても、通学時間帯に高速で通行する車は一向に減

少ない。対応策は考えられるか。
教育長 グリーンベルト、横断歩道、ガードレール、標識の設置についての要望が特に多い。予算を確保し、できるところから始めて行く。運転者に対しては対応が難しい部分があるが、新しいタイプの交通安全標識があるので検討したい。

赤とんぼの会

会長

阿島北 市瀬 紀子

平成24年2月17日鼎文
化センターで赤とんぼの
会は飯伊農業振興協議会
の会長賞、団体表彰を受
賞致しました。

赤とんぼの会は平成3
年3月、女性農業従事者
の会として結成されまし
た。農村交流センターを
拠点として村、JA、普
及所等関係機関と連携し
さまざまな事業に取り組
んできました。

○ふるさとキャラバン共
催 ○ふるさと大集合の
参加協力 ○花いっぱい
推進(チューリップ)

○サツマ芋掘りイベント
○宅配便の推進 ○村文

化祭へ参加 ○手造り農
産加工等を進めて来まし
た。いちごジャム作り、
梅漬を造り宅配の中に入
れて喜ばれております。

チューリップは平成4
年1万5千球植えた。そ
の年8千人の観光客を迎
えられ、みごとに咲いた
チューリップを眺め心も
和やかになったものです。

ふるさと大集合参加協
力での立食パーティーで
は料理を作り村内外の
方々と交流を深めること
ができ大きな思い出です。

今回の受賞は、宅配便
と福神漬を続けていると
いうことで受賞しました。

現在は昔と違って食品
の安全安心が進み食品販
売の許可がむずかしくな
り、文化祭の味ご飯や夏
野菜漬けの福神漬け楽し
みで実施していましたが、
保健所の許可がむずかし
く造れなくなり、どう考
えても残念でなりません。
何とか復活したいのです。
何か策を教えてください。

赤とんぼは年を重ねま
したが、皆元気で。今28
人会員です。住み易い喬
木・住んでいてよかった
喬木にするよう会員一同
精一杯活躍しております。
(先輩のアドバイスを頂き報告できました)

この村で がんばって ます!!

宅配便は平成4年から
始まっております。年々
注文が多くなり会員一同
張り切っている所です。今
年の第2回目は8月上旬
に予定しております。安
心安全の野菜作りをして、
一品でも多く自分達で
作った野菜を入れたいと
大根、かぼちゃ、人参を
作付けしました。



赤とんぼの会員の皆さん

シリーズ 一般質問 その後どうなったか

◎ 21年12月(筒井議員)

行政評価の評価方法は?

A・担当者による自己評価の方法と、外部者による
評価委員会設置による評価をしていきたい。

平成22年度の予算編
成は、21年度の振興計
画(事業計画)に基づ
いた評価シートを作成
し、担当職員による自
己評価で成果指標をま
とめた。

この成果指標に基づ
いて、22年度の事業計
画を策定したが、22年
度は、第四次後期振興
計画(23年度から27年
度まで)の見直しの年
であり、22年度の事業
計画に対し、自己評価
で成果指標をまとめ、
更に、外部者による評
価委員会(村づくり委
員会)を設置し、外部
者によるダブル評価を
行った上で、後期振興
計画の見直しと、23年
度の事業計画策定を
行ってきた。

24年度の計画は、23

年度の事業を担当職員

の自己評価によって24
年度の事業計画を策定
したが、振興計画の中
では、各事業ごと、何
年までに完成・完了す
ると云う目標値の設定
をしてあり、この目標
値に対して進捗状況の
チェックを行っていく
評価方法がベターであ
ると判断している。

従って、今後、毎年
の評価方法は、担当職
員の自己評価とし、振
興計画の見直し年に評
価委員会(村づくり委
員会)を設立し、ダブ
ル評価によって振興計
画の見直しと、次年度
の事業計画を策定する
方法でローリング(繰
り返し)していく予定
である。

おとがき

6月の議会も閉会し、今
年もあつという間に半年が
過ぎようとしています。西
日本では大雨が続ぎ、農作
物に大きな被害が発生して
いますが、当地方はこのま
ま静かな梅雨明けを願うば
かりです。

今議会では国民健康保険
が3年ぶりに10%の値上げ
を可決しました。国保の値
上げは直接住民の生活に響
くだけに、これからも国保
財政には関心を持ちながら、
集団受診率が県下でトップ
の村としての誇りをもって
健康管理に努め、毎日の生
活を快適に過ごしたいと願
います。

リニア、三遠南信もまだ
まだ10年以上先の開通が見
込まれます。私たちも健康
で伊那谷の夜明けを迎えた
いものです。

編集委員会

- 委員長 横前 豊
- 副委員長 屋神二三男
- 委員 筒井正司
- 委員 大平武司
- 委員 大原裕夫